



News Release

2009年9月30日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 室伏 稔

カゴメ(株)に対し、D B J環境格付融資を実施

～ 「環境格付利子補給制度」を東海で初適用 ～

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「D B J」という）は、カゴメ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：西秀訓、以下「カゴメ」という）に対し、環境格付融資を実施しました。

「D B J環境格付」融資は、D B Jが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

カゴメは、「自然を、おいしく、楽しく。KAGOME」をブランド価値経営の中心に据え、国内外での原料調達、食料品の生産から加工・流通にいたるあらゆる局面で環境に配慮したレベルの高い取り組みを実践しています。

今回の格付では、低炭素社会の実現に向け、（1）放熱設備の断熱改善や主要設備の運転効率化により工場部門のエネルギー使用効率を大幅に改善している点、（2）モーダルシフト・共同配送に早くから着手し、物流部門のCO₂を大幅に削減している点、（3）消費者のCO₂削減意識に強く働きかけることを目的とした商品へのカーボンフットプリント¹開示制度研究会に参加した点に加え、カゴメが取引する大規模菜園において、トマトの授粉を外来種のハチから在来種のハチに切り替えるなど生態系への配慮をいち早く示すなどの取り組みを高く評価しました。結果、同社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

また、カゴメは環境格付の取得とともに、「原単位当たりCO₂排出量」を5年以内に5%以上削減するとの誓約締結に合意したことから、国からの利子補給金の交付決定に基づき、D B Jは地球温暖化対策資金に係る貸出金利を優遇しました。東海本社企業への本制度の適用は初となります。

D B Jは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援して参ります。

¹ カーボンフットプリント (Carbon Footprint : 炭素の足跡)。商品・サービスの原材料調達から廃棄に至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂量に換算し表示すること。